

麻しん（はしか）患者の発生について

- ・4月27日、新潟市内の医療機関から新潟市保健所へ麻しん疑い患者の届出があり、市衛生環境研究所で検査を実施したところ、麻しんウイルスが陽性で診断が確定しました。
- ・この結果に基づき、新潟市保健所が調査を実施したところ、周囲へ感染させる可能性のある状態の患者が利用していた施設等が判明しました。
- ・当該施設を同じ時間帯に利用された方で、麻しんに対する免疫が無い方は、麻しんウイルスに感染する可能性があるため、注意喚起をするものです。
- ・感染の可能性がある日時に、当該施設を利用された方で、利用後10日前後経ってから、麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。また、移動の際は、周囲の方への感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。

【麻しん患者が利用し、接触者を特定できない施設】

施設名	所在地	感染の可能性がある日時※
イオンモール新潟南	江南区	4月21日（金） 終日
		4月22日（土） 終日
		4月23日（日） 終日
新潟西郵便局	西区	4月25日（火） 正午～夕方
ウエルシア新潟寺尾店	西区	4月25日（火） 正午～夕方
ビデオ1近江店	中央区	4月25日（火） 夕方～深夜0時頃

※この時間帯以外に利用された場合は、感染の心配はありません。今後も安心してご利用ください。また、一度かかったり、予防接種で十分な免疫をもっていれば、再度かかる心配はないと言われています。

1. 患者の概要
20歳代 男性 新潟市在住
2. 発生経過等
4月21日 発熱
4月24日 発疹、咳出現し、市内医療機関受診
4月26日 症状改善せず、別の医療機関を受診し、麻しん検査を実施
4月27日 市衛生環境研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定

【電話相談窓口を設置します】

4月29日（土曜日）、30日（日曜日） 9：00～17：00

開庁日：8：30～17：15

新潟市保健所保健管理課感染症対策室 025-212-8194

新潟県健康対策課感染症対策係 025-280-5378

【麻しん（はしか）について】

1. 一般的な症状

・感染すると、約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が 2～4 日続き、その後 39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。

2. 患者からどのように感染するか

・症状が出る 1 日前から症状がおちつき熱が下がって 3 日程経つまでの期間の患者は、ウイルスを体外に出しており、周囲の麻しんに対する免疫が不十分な人が感染する可能性があります。

・患者の鼻水や咳などと一緒に出る飛沫（つば）には麻しんウイルスが含まれます。飛沫が口や鼻などから入ったり（飛沫感染）、ウイルスがついた手で目や鼻や口などに触れることで感染します（接触感染）。また、体外に出たウイルスは暫く（2 時間後位まで）空気中にたどよい、それを吸い込むことで感染します（空気感染）。

3. どのような人が感染しやすいか

・予防接種を受けていないなど麻しんに対する免疫が無い人です。一度かかったり、予防接種で十分な免疫をもっていれば、再度かかる心配はないと言われています。

<麻しん患者の発生状況>

	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年
全国	229	462	35	165	148
新潟県	1	2	0	0	1
新潟市	1	0	0	0	1

※1 全国、新潟県は、新潟市分を含む。

※2 平成 29 年全国は 4 月 23 日時点、新潟県・新潟市は 4 月 27 日時点

<お願い>

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、感染症及び患者家族等について本人が特定されることがないように、人権に格段のご配慮をお願いいたします。

新潟市保健衛生部保健所保健管理課感染症対策室 025-212-8194 （担当：相馬・栗原）

※この件についての、問い合わせは午後 6 時までにご利用します。